



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場会社名 株式会社コンテック 上場取引所 東  
 コード番号 6639 URL <http://www.contec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 勝敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 藤井 貢 (TEL) 06-6472-7130  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,991	11.6	337	246.2	343	199.0	555	880.7
26年3月期第2四半期	9,852	20.5	97	—	114	—	56	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 330百万円(△34.4%) 26年3月期第2四半期 504百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	168.31	—
26年3月期第2四半期	17.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,952	7,289	39.9
26年3月期	17,701	7,018	38.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,162百万円 26年3月期 6,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であります。平成27年3月期(予想)の1株当たり配当額につきましては、株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	4.8	1,000	85.8	1,000	80.2	900	23.7	136.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	3,300,000株	26年3月期	3,300,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	93株	26年3月期	93株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	3,299,907株	26年3月期2Q	3,299,907株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、消費増税による駆け込み需要の反動減がありましたが、企業収益が改善するなかで企業の設備投資が増加するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの売上高は10,991百万円(前年同期比11.6%増)となりました。利益面につきましては、EMS事業の収益改善に伴い、営業利益は337百万円(前年同期比246.2%増)、経常利益は343百万円(前年同期比199.0%増)となりました。また、四半期純利益につきましては、投資有価証券及び固定資産の売却による特別利益を計上したことにより、555百万円(前年同期比880.7%増)と大幅に増加いたしました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 電子機器事業

日本市場におきましては、景気指標の一つである機械受注が堅調に推移するなど企業の設備投資需要が高まっていることから、産業用コンピュータ製品や計測制御製品の販売が増加いたしました。また、米国市場におきましては、医療機器業界の需要が堅調であったため組込用コンピュータの売上が好調に推移いたしました。利益面につきましては、販管費の増加等により前年同期と比べて減少いたしました。

この結果、売上高は7,326百万円(前年同期比12.3%増)、セグメント利益は143百万円となりました。

#### ② EMS (Electronic Manufacturing Service) 事業

当事業では、株式会社ダイフク向けの物流システム用制御機器の販売が昨年と比べて増加いたしました。また、これまで海外で生産していた製品の一部を日本に移管するなど、生産効率の向上とコストの削減に努めてまいりました。

この結果、売上高は3,664百万円(前年同期比10.1%増)、セグメント利益は257百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

資産は17,952百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円増加いたしました。これは主に棚卸資産の増加715百万円、投資有価証券の減少369百万円、のれんの減少125百万円によるものであります。

負債は10,662百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に借入金の減少380百万円、その他流動負債の減少165百万円、仕入債務の増加484百万円によるものであります。

純資産は7,289百万円となり、前連結会計年度末に比べ270百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加510百万円、為替換算調整勘定の減少135百万円、その他有価証券評価差額金の減少122百万円によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、2,970百万円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ30百万円減少いたしました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は99百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益707百万円、棚卸資産の増加による747百万円の支出、投資有価証券売却益300百万円、固定資産売却益150百万円、法人税等の支払いによる81百万円の支出、仕入債務の増加による515百万円の収入であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は504百万円となりました。主な内訳は、投資有価証券売却による467百万円の収入、固定資産売却による177百万円の収入、固定資産取得による120百万円の支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は439百万円となりました。主な内訳は、借入金の返済による380百万円の支出、配当金の支払による49百万円の支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。また、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が15,819千円減少、退職給付に係る負債が20,607千円減少、利益剰余金が4,788千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,620千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,029,989	2,970,945
受取手形及び売掛金	4,678,134	4,707,498
商品及び製品	2,048,131	2,372,566
仕掛品	533,361	890,158
原材料及び貯蔵品	1,537,120	1,571,357
繰延税金資産	372,924	369,816
その他	132,543	179,927
貸倒引当金	△5,978	△6,671
流動資産合計	12,326,227	13,055,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	899,608	857,655
機械装置及び運搬具(純額)	34,349	30,301
工具、器具及び備品(純額)	115,268	116,933
土地	1,389,919	1,389,919
リース資産(純額)	62,871	52,442
建設仮勘定	11,779	13,697
有形固定資産合計	2,513,797	2,460,950
無形固定資産		
のれん	1,715,133	1,589,544
ソフトウェア	152,471	145,469
その他	27,175	36,247
無形固定資産合計	1,894,780	1,771,261
投資その他の資産		
投資有価証券	829,555	460,175
繰延税金資産	9,476	30,957
退職給付に係る資産	36,666	86,462
その他	90,629	87,406
投資その他の資産合計	966,327	665,002
固定資産合計	5,374,904	4,897,214
資産合計	17,701,132	17,952,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,405,806	3,890,540
短期借入金	900,120	650,000
1年内返済予定の長期借入金	260,000	260,000
リース債務	18,646	16,436
未払法人税等	49,794	145,790
その他	928,620	762,902
流動負債合計	5,562,988	5,725,670
固定負債		
長期借入金	4,190,000	4,060,000
リース債務	44,408	36,190
繰延税金負債	216,439	133,736
退職給付に係る負債	623,119	645,335
その他	45,309	62,022
固定負債合計	5,119,276	4,937,284
負債合計	10,682,265	10,662,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,600	1,119,600
資本剰余金	669,600	669,600
利益剰余金	4,327,054	4,837,758
自己株式	△69	△69
株主資本合計	6,116,185	6,626,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370,741	248,136
為替換算調整勘定	613,046	477,572
退職給付に係る調整累計額	△219,863	△190,140
その他の包括利益累計額合計	763,923	535,568
少数株主持分	138,757	127,400
純資産合計	7,018,866	7,289,857
負債純資産合計	17,701,132	17,952,813



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,852,131	10,991,036
売上原価	7,532,172	8,298,320
売上総利益	2,319,958	2,692,715
販売費及び一般管理費		
販売費	1,131,809	1,257,166
一般管理費	1,090,581	1,097,733
販売費及び一般管理費合計	2,222,390	2,354,900
営業利益	97,568	337,815
営業外収益		
受取利息	1,015	915
受取配当金	13,188	9,610
為替差益	-	5,725
受取賃貸料	12,261	12,075
受取保険金	30,000	-
その他	4,219	6,025
営業外収益合計	60,685	34,353
営業外費用		
支払利息	30,195	26,386
為替差損	10,019	-
その他	3,109	2,170
営業外費用合計	43,324	28,556
経常利益	114,929	343,612
特別利益		
投資有価証券売却益	-	300,711
固定資産売却益	-	150,084
その他	-	9,209
特別利益合計	-	460,005
特別損失		
固定資産除却損	1,423	1,966
関係会社整理損	-	94,594
特別損失合計	1,423	96,561
税金等調整前四半期純利益	113,505	707,056
法人税、住民税及び事業税	54,584	160,767
法人税等調整額	△7,692	△18,545
法人税等合計	46,892	142,221
少数株主損益調整前四半期純利益	66,613	564,834
少数株主利益	9,978	9,420
四半期純利益	56,634	555,413

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主利益	9,978	9,420
少数株主損益調整前四半期純利益	66,613	564,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,416	△122,605
為替換算調整勘定	373,426	△140,966
退職給付に係る調整額	-	29,723
その他の包括利益合計	437,842	△233,848
四半期包括利益	504,456	330,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481,369	327,058
少数株主に係る四半期包括利益	23,086	3,927

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	113,505	707,056
減価償却費	127,046	115,241
のれん償却額	58,653	59,805
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,732	933
退職給付引当金の増減額(△は減少)	59,143	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	6,930
受取利息及び受取配当金	△14,204	△10,526
支払利息	30,195	26,386
為替差損益(△は益)	4,599	△12,602
有形固定資産除却損	1,423	1,966
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△150,084
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△300,711
関係会社整理損	-	94,594
売上債権の増減額(△は増加)	1,009,348	△65,389
たな卸資産の増減額(△は増加)	△621,713	△747,276
仕入債務の増減額(△は減少)	478,374	515,597
その他	△175,034	△244,798
小計	1,063,605	△2,875
利息及び配当金の受取額	12,552	10,527
利息の支払額	△31,036	△25,907
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△61,291	△81,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	983,830	△99,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△15,197	△5,709
有形固定資産の取得による支出	△48,667	△84,335
有形固定資産の売却による収入	-	177,453
無形固定資産の取得による支出	△14,274	△36,282
無形固定資産の売却による収入	-	4,078
投資有価証券の売却による収入	-	467,885
関係会社株式の取得による支出	-	△15,689
その他	△11,279	△2,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,418	504,992
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△250,000
長期借入金の返済による支出	△82,843	△130,000
配当金の支払額	△49,350	△49,041
リース債務の返済による支出	△10,685	△10,428
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,879	△439,469
現金及び現金同等物に係る換算差額	83,009	△25,207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	834,541	△59,044
現金及び現金同等物の期首残高	2,166,511	3,029,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,001,053	2,970,945

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	電子機器事業	EMS事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,522,895	3,329,235	9,852,131	—	9,852,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	922,462	1,849,590	2,772,053	△2,772,053	—
計	7,445,357	5,178,826	12,624,184	△2,772,053	9,852,131
セグメント利益又は損失(△)	209,424	△104,191	105,233	△7,664	97,568

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,664千円は、棚卸資産の調整額△9,344千円及びセグメント間取引  
消去1,680千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	電子機器事業	EMS事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,326,343	3,664,692	10,991,036	—	10,991,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,310,604	2,751,488	4,062,093	△4,062,093	—
計	8,636,948	6,416,180	15,053,129	△4,062,093	10,991,036
セグメント利益	143,909	257,094	401,003	△63,187	337,815

(注) 1 セグメント利益の調整額△63,187千円は、棚卸資産の調整額△65,347千円及びセグメント間取引消去2,160  
千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更した  
ことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の「電子機器事業」のセグメント利益が6,861千  
円減少し、「EMS事業」のセグメント利益が3,758千円減少しております。

(重要な後発事象)

連結子会社の吸収合併

当社は、平成26年10月15日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社コンテック・イーエムエスを吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

(1) 取引の概要

① 合併の目的

当社グループの生産部門として運営しております株式会社コンテック・イーエムエスを、グループ経営の効率的運営を目的として吸収合併するものです。

② 合併に係る割当ての内容

当社は、株式会社コンテック・イーエムエスの全株式を所有しておりますので、本合併による新株式の発行および資本金の増加ならびに合併交付金の支払いはありません。

③ 対象となった事業の名称及びその事業の内容、規模

事業の内容 電子機器の製造

事業の規模 (平成26年3月期)

資産の額 4,753百万円

負債の額 3,981百万円

純資産の額 772百万円

④ 企業結合日

平成27年4月1日

⑤ 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社コンテック・イーエムエスを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式

⑥ 結合後企業の名称

株式会社コンテック

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理をいたします。